

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(2-69)、廃棄物管理施設(44)、MOX燃料加工施設(2-33)」

2. 日時：令和5年6月27日（火）13時30分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他2名

関西電力株式会社

原子力事業本部 プラント・保全技術グループマネジャー 他1名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）からの当日提出資料に基づき、今後の進め方について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・設備の解析・評価等については、構造設計等の整理との紐付け、説明に当たっての類型分類等を整理した上で、どの資料で展開するのか検討し、説明のステップを明確にする。
- ・再処理施設の類型分類については、個別設備の構造設計として説明すべき事項等を整理し、考え方を明確にして説明する。特に重大事故等対処設備については、許可時の整理資料において整理した設計方針の類似性を踏まえた考え方として説明する。
- ・竜巻防護対策設備については、これまで会合で受けた指摘等を含めて、まずは課題の認識共有を行う。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

「今後の進め方」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年1月26日)
「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年1月26日)
「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年1月26日)
「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年1月26日)
「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書(令和4年1月26日)
「日本原燃(株)から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書(令和5年2

月 28 日)

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書 (令和 5 年 2 月 28 日)

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

時間	自動文字起こし結果
00:00:01	録音開始しました。
00:00:04	木内山口ですとそれではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、
00:00:17	あとまた、令和5年2月分じゃなくて、
00:00:21	基に知り手があった MOX 施設の設置工認申請についてと資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。まずは規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁側の出席者について紹介をお願いします。
00:00:38	はい。規制庁横山です。本庁側の出席者についてお知らせします。本町川から土岐氏の、
00:00:44	羽場先竹田、
00:00:47	田尻大岡。
00:00:50	大橋。
00:00:51	藤原尾野。
00:00:53	横山。
00:00:54	以上本庁がからの出席者となります。
00:00:59	その他 WEB から古作紙で山口以上になります。それでは日本原燃から出席者の紹介とするそれぞれの役割について説明し、本日の
00:01:13	資料の説明を開始してください。
00:01:17	はい。日本原燃事務局の中浜です。
00:01:20	日本原燃側の出席者紹介いたします。
00:01:24	Steering チームより、
00:01:26	決得。
00:01:27	今村。
00:01:29	石原、あと関西電力様から、野本様。
00:01:33	石黒様。
00:01:35	あと、MOX 及び再処理の事務局さんとさせていただいてございます。
00:01:40	本日ご確認いただけます資料でございますけれども、本日午前中決させていただきましたいただきました今後の進め方について説明を、ご確認をいただきたいと思っております。
00:01:52	それでは説明の開始させていただきます。
00:01:57	はい、乳井西原でございます。

00:02:00	今後の進め方でございますが、先週の金曜日のヒアリングにおいてご提示をした資料説明内容、非常に曖昧な部分、あと具体性がない部分ありました。
00:02:12	失礼いたしました。今回今後の進め方につきまして、まず構造設計等の説明、MOX を骨格としてまずは進めていくと言ってることと、
00:02:23	再処理の説明をどうしていくかということをし分けをして整理をさせていただきます。
00:02:29	資料の1 ページ目の1 ポツの(1)、これがMOX の構造設計等の説明の進め方になります。
00:02:40	大きくは第1 弾を第1 ステップ第2 ステップに分けまして、第1 ステップでは、明日ヒアリングが予定されておりますが、
00:02:50	共通12 としてどういうふうに資料をまとめていくのか、今回特に説明グループをいくつかに分けて、それぞれの当番関係を見ながら、どこの説明グループで説明をするのかということも含めて、
00:03:03	整理が必要ですのでそういったことを共通要因としてどうまとめていくかということの骨格整理を第1 ステップとしてやらせていただこうと思っております。
00:03:13	具体の合同設計等の内容につきましては第2 ステップでご説明をしていくということで今、現状整理をさせていただいてございます。
00:03:21	まだ第1 ステップで清正田支社資料では明確にできておりませんでした。明日口頭になりますけども、個別補足説明資料との整理、をどうしていくかということも考え方をしっかりと説明して、
00:03:35	骨格としてどういうふうに共通に求めていくかというのを、ご確認いただけるように、進めば進めさせていただきますと思っております。
00:03:44	またその個別補足説明資料につきましては、①番の第1 弾の一番最後のポツでございますけども、供給時に個別補足説明資料の整理表を受けた上で、これを1 なのか2-1 なのか2-2 なのか3 なのかという関係性について整理をさせていただいて、
00:04:03	1 と2-1 に関連するもの、これ2-1、単品という2-1 と2-2 セットになるかもしれませんが2-1 に絡むものがある場合は、A、
00:04:13	今日提示の部屋で、その構造設計等の説明に合わせて説明をさせていただくということもあわせて共通時の中で整理をさせていただければと思っております。

00:04:25	(1) の②番が、第 1 ステップの対象に対する影響か解析等の説明、その結果も含めて説明の進め方というところでございます。
00:04:36	前回、2-2 棟と書いてありましたが三野に置いとこでございます。
00:04:40	日本も含めて全体の結果も含めてステップ第 2 ステップの後、第 2 ステップ対象となったものに対して説明を進めさせていただきたいと思って、説明をさせていただきます。
00:04:55	ここでも合わせて当然ながら個別補足説明資料もセットになるものは、その中で説明をあわせてさせていただいたさせていただくということでございます。
00:05:03	はい。③番、説明グループ一番が、第 1 弾第 2 弾を含めた第 1 弾の中での説明対象になりますので、説明グループ 2 以降の合同設計等の説明については順次実施をさせていただきます。
00:05:17	ただしこれ再処理の (2) 番である再処理の設計説明分類等の設定をした後、全体で優先順位も含めて説明を同じタイミングですべきものかどうかというのを整理をした上で、
00:05:29	説明の順番であったり進め方を再度設定をさせていただきたいと思ってございます。これ遠隔を再度徹底をさせていただきたいと思ってございます。
00:05:39	(2) 番の行動というのはここに入っちゃう話がまた発散しちゃうんで、ここら辺で話しませんか。
00:05:47	はい、承知しました。
00:05:55	H は山口です。それでは、1 ポツの (1) の複数の進め方までで、規制庁側から確認ございましたらお願いします。
00:06:05	規制庁の谷です。ちょっと、取り止めたのかもしれないですけど、その話っていうのは結局具体的にどのタイミングでっていう話をされたか何でしたけど、あんですけど。
00:06:15	明日共通 12 のヒアリングがあってで、前回の進め方ヒアリングのところで、1 回形を示しつつ、それで直さなければいけないのでって話になってるんですけど、
00:06:25	明日の時点の話をされたのか次回の進め方ヒアリングの話をされたのかちょっと掴みきれなかったのもう 1 回説明してもらっていいですか。

00:06:35	はい。二本木西山でございます田井足田遠征いたしました。少なくとも、明日にはまだ間に合いませんので、次回の今後の進め方の費用の中でこういった分類するか5ページをさせていただきたいと思います。
00:06:51	あわせて実感したのヒアリングを受けた時、この次の共通理由の中では、添付をした上で、全体の整理、説明の骨格というのを、
00:07:01	資料西尾さんにも反映をしたものをお示しをすることで考えておりました。以上です。
00:07:07	はい。規制庁館です。と明日の共通10人。
00:07:11	をどうするかっていうところで1回頭に為替ときたいんですけど、明日っていうのは結局各部衛藤設計説明ぶりだけ。
00:07:20	中出グループ須藤っていうところに関してだけ、後ろの資料の2とか3表の方は意識ついたりしますけど、基本的に資料の3とかに関してはグローブボックス等のところに集中的な形で書いてあるっていう形なので、
00:07:33	その前段部分も含めてまずはグローブボックス等代表例に資料1から3まで、順にやっぱ説明してくとおっしゃればいいんですかね。
00:07:42	はい。二本木西様でございます。はい。そういう形で出した説明をさせていただければと思います資料1がどういう形で
00:07:51	作っていったって、資料2との紐づけ、関係性がどうなっているのか、あと資料3との資料2と資料3の関係がどういうふうに整理をしているのかというところを、順次説明していければと思ってました。
00:08:03	はい、規制庁とリエスってその時になんですけど資料1から資料3の中でその線前段部分の基本的な共通の考え方も含めて確認をしていくんですけど。
00:08:13	最後資料3のところに行った時にさっきの補足の話が少し出てくると思っていて、
00:08:19	と、この間はしたか、明日説明しようと
00:08:23	関係性っていうところは口頭では多少説明があるんですかね要は整理されたものっていうのが次回の説明型ヒアリングでっていうのはわからなくはないんですけど、考え方を聞かずに明日資料3とかの話聞いた場合に、
00:08:36	結局どうなるのっていう話になりそうな気もするんですけどそのあたりで何か考えありますか。

00:08:41	はい。与儀西原でございます。はい。今前回、今今後の進め方部屋でもいただきましたご指摘事項も含めて整理を進めておまして、
00:08:51	明日の部屋では何とか口頭で、ここに関係するものっていうのは個別補足でこんなのがあって、ここは、企業さんとしてはこういうふうを示していきますということも含めてご説明できるようにさせていただければと思ってました。
00:09:05	はい、一井鳥取です。わかりました
00:09:09	えっと、それぞれの市補足との関係の話もですし前回進め方ヒアリングのときに少し話は出たんですけど
00:09:17	第一グループ第五グループ間でさっきグループごととの関係性とかの話も全体の進め方ヒアリングの資料に載ってないところで今回出てきてる共通12だと。
00:09:26	ちょっとすいませんいつ時点のやつがいっぱいあるのっていうのがよくわかってないんですけど多分古い内容が載ってたりすると思うので、せっかく共通中のヒアリングをするので口頭で沖縄のところを補っていただいてという形の方が、何か無駄な手戻り等もないかなというふうに思うので、
00:09:41	そういった点を補足して説明してもらえればと思うんですけど、そういった認識でまず合ってますかね。
00:09:46	はい。日本原燃伊勢でございます。はい。できる限りそういうことをさせていただこうと思ってまして当然ながらグループか説明グループ間に対して、どこを代表にしてっていうときに資料2、資料3の中でどう示すのかということも、
00:10:02	骨格整理の内数だと思ってますので、そういうことも、ことで、補いながら説明をさせていただければと思ってました。
00:10:10	はい規制庁た事実がわかりました明日までに新しい資料は出てこないけど先週の進め方ヒアリングの資料とか横に置きながら適宜確認するっていうことでやっていきたいと思うのでよろしくお願いします。
00:10:28	伊仙町八巻区、どうぞ。
00:10:34	他ありますって、規制庁古作です。今の点で
00:10:42	等(1)①の最後のポツ、
00:10:46	についてなんですけど、

00:10:49	明日は明確では、資料上は明確ではないものの、方向性の話をさせていただいて、それを踏まえて来週の進め方日やにおいては、
00:11:02	もう少し明確にした形の整理をお聞かせいただけるということでそれを踏まえてその次の共通 12 の資料では、STEP II に入っていく。
00:11:15	イオンにもなっていくということなので具体的に展開をされている様を見せていただくと。
00:11:21	ということと認識をしましたが、それでよろしいですよね。はい。宮城列車でございます。はい。おっしゃっていただいた通りで進めさせていただければと思います。
00:11:32	はい、古作です。それで、
00:11:36	類似ではあるんですけど②の方で、2-2 の関係という話をされてるんですけど、
00:11:46	ここ、この辺りに来るとまたよくわからなくなって、
00:11:51	できて、
00:11:54	等、
00:11:57	まずは、00 資料別紙 4
00:12:05	っていうのがいきなりドンと来るんですけど、
00:12:08	これは何でしたっけ。
00:12:11	はい。二本木臨床でございます。はい。今日取りの段階では主おっしゃって、イメージされている通り、資料 2、資料 3 で、
00:12:22	資料 2 では設計説明分類とその構造設計なのかシステム設計なのかということ、それに筒井なる評価みたいなものがあるかどうかという登場人物が資料に明らかになります。
00:12:34	資料 2 の段階でもう構造設計なりなんりのコードの設計とリンクをしてどういう評価をするのかという、概略は出てくるんですが、細かい評価条件とか評価方法みたいな話は、
00:12:47	現状は別紙 4 の添付書類の評価方針なりの方に、部隊を預けている形になってございます。それは資料 3 に行っても同じで、構造設計等の
00:13:00	中身としては評価も考えた上でこういう部分の構造バックを考えますということで、図面も含めてつきますけども評価方法の中身自体は、テプラいらんに振る形でそちらで説明をしますよという形になってますので、

00:13:14	2-2に来たときにはその内容を踏まえた上で、評価はこういう方針でやっていますということを郷評価条件も含めてご説明するのかなということで今定義をしておりました。
00:13:26	古作です。私の質問はですね、
00:13:30	それは添付書類でやればよくて何で00別紙4なんですかってことなんですけど、
00:13:36	別紙4で書くのって、ヒョッカー書全部を載せてるわけじゃなくってってということだと思んですけど、条件とか何まで全部書い
00:13:47	ておくんでしたっけってことなんですけど。
00:13:53	どうされてます。
00:13:54	はい、宮城志田でございます。現状の別紙4は、添付書類で書く内容を、評価の基本方針評価方法評価条件等まですべてしくセットで書いている状態になってます。
00:14:09	加えて評価結果も別紙4の中に入れて添付書類の形に近いですけどもつけているということで、抜け漏れがないかなと思ってました。加えてその条件の根拠みたいなものは個別補足をセットにすることで、
00:14:23	全体が網羅できるということで今は考えてました。
00:14:29	と規制庁臭くです。
00:14:32	大分、
00:14:34	小部通の古藤で見られるような気がしてて、
00:14:38	強度計算書なんて全部、別紙4で入れてるんですか、対象ですけど。
00:14:44	耐震は結構やたら別紙を作ってたような気がしますけど。
00:14:48	今後その具体の設備代表ってものを上げていったときに全部入ってるもんですか。
00:14:56	はい。逃げる1社でございます。はい。これは主語は何でのMOXで、
00:15:03	つけたものでいくと、そうですね。全部ついてたという認識なんですかもう一度、代表なのか全部ついているのか確認して、
00:15:13	今のご指摘の点回答できる用意させていただきます。
00:15:18	規制庁古作です。確認していただくのはいいんですけど、私の問題意識というかは別紙4でやると言って別紙4を作り込むという作業が無駄じゃねえかっていう、
00:15:31	てる。
00:15:32	です。

00:15:33	計算書で説明できんなら、添付でいいじゃないかと。
00:15:37	ということでバザー座何 000 資料だけ持ち出して作業しなきゃいけないんですかってことなんですけどいかがですか
00:15:47	はい。日本原燃一緒でございますはい。これ以前のやりとり踏まえて別紙 4 のところに、
00:15:57	添付書類の評価方針と経産省そのものもフルセットでつけると、添付書に書いてある分をですね、ということで、レベルでやりとりができるようにというベースで、
00:16:10	MOX も申請した以降、1 回出したやつは全部ついてなかったんですけど、再度全部付け直して提出をさせていただいた経緯もあったので、
00:16:20	別紙 4 でどうかなということで思ってたところでした。以上です。
00:16:26	規制庁古作です。
00:16:29	その時、
00:16:30	木野議論よく私覚えてないんですけど、
00:16:37	べっ C00 資料の別紙 123 紙と流れていく中で、全部拾い切れるだろうと。
00:16:45	思っていて、
00:16:48	添付書類まで必要事項が十分書けているかという確認ができるという話の流れだったんじゃないかなと思うんですね。一方現状どうなってるかっていうとそれでは全然原燃の作業が、
00:17:03	十分なものになってなくて、それによって共通中に類型のもとをしっかりと整理するようにと。
00:17:11	いうことになりちょっと語弊がある言い方しちゃってますけど、現状だと、共通 12 の資料 3 ということで、
00:17:22	構造設計についての
00:17:26	検討が不足していたところ説明が不足していることというのが抽出され、拡充を図っていくということでフィードバックの話になっている。
00:17:35	いうところからするとですね、別紙 00 資料別紙 4 に繋がる、別紙 123 と、
00:17:46	いう、特にですかね、いうところについては、共通中に述べ資料 2 が対応してるんだと思うんですよ。
00:17:56	そうする等、資料 2 で書いてある各業務の方針がどういうふうに入ってきてるのか、後にしようかという項目があるんだと思いますが、

00:18:05	そういったところの議論を、共通 12 で出てきている整理と別の 00 資料別紙 4 でやって何の意味があるんだっていう気がしているんですけどどうつなげるつもりですか。
00:18:27	はい。弓削西尾でございますはい。他の支社停留出身は理解をしました。はい。今おっしゃっていただいてまず共通 12 を求めるにあたって、
00:18:39	構造設計、システム設計だけに特化してやるというのはあまりもともと評価も含めた設計としての成り立ちからすると、
00:18:49	十分条件を達成できないんじゃないかというのもあって評価とのリンクも含めて共通順位で整理をさせていただきました。その評価の内容たるものがその設計も踏まえた上で十分なのかというところを、
00:19:02	今は 00 でという話も考えてましたが、共通要因の中でその紐づけも含めて、評価の条件だったり評価を内容だったりということも近いと必要な情報を消してですね、説明を、
00:19:16	させていただくということも一つ考えさせていただければと思います。添付書類でやるということもおっしゃっていただける方法ですし、共通の中で構造設計等の紐づけもしながら、評価としてはどういうやり方をするのか、それが、
00:19:32	設計も踏まえた上で適切なのかということも含めて説明をするというやり方もあるのではないかなと思いますので全体の進め方、もう一度考えさせていただければと思います。以上です。
00:19:47	はい、規制庁不足です。少なくとも、共通 12 の資料 2 なり資料 3 なりでの展開といったところ、
00:19:56	と繋がるように、この②の説明、
00:20:00	を構築していただきたいと思います。その上で作業として
00:20:07	県内がうまくできるやり方ってのはどうなのかっていうのをまたお聞かせいただければと思います。最終的には、別紙、A00 資料別紙 4 の形も含めて、
00:20:21	結局次、別紙 12 のあたりも補正に向けて拡充をしていくという作業があるでしょうし、それを踏まえると別紙 4 の方も
00:20:33	修正、追記をしていくという作業とかあるはずで、そのためにもう展開は必要だと思ってるんですけど、ヒアリングをどのタイミングでどうい

	う資料でやるかっていうのはまずちょっと別かなと思ってお話をしています。
00:20:49	それ
00:20:51	さらには、
00:20:54	ここに先ほどもお話あったように補足説明資料というのがついてくるので、それについては、このタイミングだと同時に、提示されて説明されるっていうことでよかったですかね。
00:21:09	はい。二本木西田でございます。おっしゃっていただいている通り同時に出して説明をあわせてしていくということを考えていました。
00:21:18	はい、古作ですわかりました。
00:21:21	それはあれですね①の最後のポツにあるように、どんな補足をつけるつもりかは、もう共通 12 の 2-1 の説明の範疇の中で、ある程度、
00:21:34	方針を示していただいてって次のステップではもうものが出てくるってことですよね。
00:21:40	はい。井上西田でございますありがとうございます。はい。おっしゃっていただいている通りでございます。はい。
00:21:47	はい、古作ですわかりました。それでエース
00:21:53	女 02 の方にまた話戻しますけど、設定根拠ってというのが、基本にあるということなのは、大枠としてはそうなんですけど、
00:22:04	必ずしも設定根拠ではなくて個別の機能す、機能の説明、
00:22:12	所であったり、先ほどの耐震計算書だったり強度計算書だったり、
00:22:20	いうことでいくつか主類があるんだと思うんですね。それに応じてまた説明の種類があると思うんですけど、
00:22:31	その辺りワーしごと 02 の一番下のポツで
00:22:39	何らか説明されるのかなという気もするんですけど。
00:22:45	そのあたりの方向性というか方針を教えてくださいませんか。
00:22:49	はい。稲毛西田でございます。はい。具体性がなくて恐縮では、おっしゃっていただいている前の一番下のまた書きで、そこも整理をしようと思ってました。おっしゃっていただけるように設定根拠に根拠が書いてあるものが軸になったり、個別の機能の説明書の中で、根拠を示して設定。
00:23:09	競争を呼び込みに行くといった整理もありますし、コンピューターの自体が経産省、

00:23:15	だけ2階建あたりというのがそれぞれパターンがあると思いますので、そういったものの分類をした上でどういうものを大材料にしてどう説明していくのかと。
00:23:27	またその分類をどう設定していくのかっていうのはこのまた書きのところをもうちょっと具体化して、何をするのがわかるように今後、説明をさせていただければと思います。以上です。
00:23:42	はい。規制庁日下です。タスクとしては理解いただいているんだと思うんですけど、ここまでの話でどう進めていくのかと。
00:23:52	た時にですね、
00:23:54	4ページの図で見ると、
00:24:00	ステップ1、2がシリーズになってるっていうのはいいんですが、
00:24:05	そのあと、2-2等に移りますとなっていて、その中で、00という今お話のあったようなことがあってそこはちょっと
00:24:15	再検討いただくとして、個別補足もあわせてやりますとなっている中、下に矢印が出て設定根拠と何か別枠にされるという、この流れがわからない。
00:24:27	というのと、そもそもこの全体の説明の、その累計どうやって説明して、
00:24:35	どう、
00:24:37	その類型についての説明をいつやるかといったところの体系整理が、この前にあるべきかなと思ってまして、そうすると、
00:24:48	第1弾の第2ステップを、
00:24:51	やっていってる中でわあ、そういった方針をまず、その個別ヒアなのかこの進め方費用の方ありませんけど、検討されて準備を。
00:25:02	進めていくと、認識合わせていくっていう作業が必要かなと思ってんですけどいかがでしょうか。
00:25:09	はい、三宅西様でございますはい。ちょっと取ってつけたように設定根拠会計しまったのはこれは確かにイメージが合わないと思いますので全体整理をしますということをあわせておっしゃっていただいたように、
00:25:21	その説明の前にと書いというのは2-2の、等の説明に入る前に、どういう分類例説明を組み立てていくのかというのがないところ、目に入れないと思いますので、

00:25:33	第2ステップをやってる最中にやる方向でちょっと何をやるのか、どの時期からそれをスタートするのかというのを具現化して、
00:25:43	お示しをしたいと思います。以上です。
00:25:47	はい、古作です。よろしくお願いします。
00:25:51	2-2の累計ももうそれを、構造設計で今回議論しているような形で2-2としての整理というのはあるよね。
00:25:59	いうことはこの間お話したことであって、そうする等、基本は、ここでご説明いただいたように、共通12での整理を踏まえてどちらかという と構造設計の種類、
00:26:14	の順番で、2-2の方に移行していくということになると思うんですけど、その中で2-2としての説明の主要なものっていうのはどういうふうに入ってくるのかなど。
00:26:27	それで順々にうまくいけるかなっていうイメージが出てくるといいなと思ってまして、次回はいつぐらいに、2-2としての類型みたいな話をしていき、それを踏まえて、
00:26:45	6ページ以降ですかね、といったところで具体的にはこれの、この評価について、説明するとこの累計のやつが大体埋まってきますよみたいなのが出てくると。
00:26:56	ということで全体の押さえ方っていうのがわかってくるっていうことかと思しますのでよろしくお願いします。
00:27:05	はい、宮城西原でございますはい、承知いたしました以前もおっしゃっていただいたようなことを話をした記憶もありますので、こうやって設計説明、説明グループですかね、分けて、後でまとめてというものと、
00:27:18	評価として説明するグルーピングとの関係っていうのが、どうコラボしてきているか、どうやってスキームができていくのかというのを整理をして、今後説明をさせていただければと思います。以上です。
00:27:36	はい、補足ですよろしくお願いします。
00:27:39	で、
00:27:40	③については、これは再処理の設計説明分類等の設定後っていうことで、
00:27:50	再処理の設定の状況で
00:27:56	関連するもの合わせてっていう方針もあるので、その点で、
00:28:02	タイミングを調整していくということだと理解を

00:28:07	してますので、まずは再処理の方の設定を早くやっていくと。
00:28:13	ということと、
00:28:15	認識をしています。なので (2) の話を踏まえてかなとは思いますが、そのす。
00:28:24	括弧 2 の議論とかっていうのは、
00:28:27	今回も結構アンダーラインを引いて書かれてますけど、
00:28:32	検討のスケジュールとしては結局、
00:28:35	4 ページだと、再処理の部分って長く書いてあるけどどうすんのっていう話を前回したかと思うんですけど。
00:28:43	今の MOX の関係も含めながら、どう進めるつもりかだけまず聞かせていただけますか。
00:28:51	はい、宮城西田でございます。はい。まず最初についておっしゃっていただいて MOX でやってきたことの整理を、同じようにやらないといけない、着眼点は違うにしろ同じような整理をしていかなきゃいけないというのがまず認識でございます。
00:29:09	現状、確かにうまくブレイクできてませんし、そこは恐縮でございます 7 月なんでスケジュール的にも 7 月 7 日以降順次、
00:29:20	今後の進め方の枠を使いながら、再処理の設計説明分類の設定をやっていきたいと思っているんですが、私書いたスケジュールの 10 ページを見ると 7 日で止まってしまっているんで、これを、
00:29:35	迎えていかなきゃいけないという認識でございます。設計説明分類を作った後、設計説明分類を 5 体ごとにどういうグルーピングをして説明していくのか。
00:29:46	それと、1 個別 MOX とのコラボをどうするのか、あとはボックスであったように、どこで代表して、その説明をし、条文の説明をしていくのかと。
00:29:59	いうことを、整理をしないといけないというのが認識でございます。
00:30:04	少なくとも、74、21 の 3 点ぐらいでは決着を全部つけないといけないと思ってます。
00:30:14	そのぐらいのスピード感それでも遅いんですけども、スピード感で目視でやってきたことと同じような対処に版をつくり上げるというのが現状考えているところでございました。

00:30:25	少なくとももうちょっと具体化しなきゃいけないという認識がありますが、 けれども現状、そういったところでございます。
00:30:33	規制庁古作です。大体検討の進め方スピード化というのはわかりました。
00:30:41	やらなきゃいけないことの課題は認識共有できたかなと思いますのでこの後の説明も聞きながら進めていければと思います。私からの(1)については以上です。
00:30:59	長山口です。ですかっこのGまで、丹ほか規制庁側からありますでしょうか。社長の田尻諏訪1件だけなんですけど2-2と3っていうのは、
00:31:11	今日、完全にまとめてな形ですかね。
00:31:15	境目なってもいければなと思ってたんすけど今の方針としては、
00:31:19	2-1を割って、世界の構造設計ができたなら解析評価とその結果のところ含めて、一気に来るようなイメージですかね。
00:31:27	はい。弓削西田でございます。はい。そう考えておりました。ただ先ほどのやりとりあったどういうふうなまとめ方で説明をしていくかという検討の中で合わせて、どういう単位でやっていくかも含めて、
00:31:41	考え方を整理してお示しできればと思いますはい。
00:31:45	はい、規制庁とJNESわかりました自分から以上です。
00:31:53	はい。きちんと山口です。加古まで規制庁側から確認ございますでしょうか。
00:31:59	等、よろしければちょっとついてます。
00:32:03	(2)再処理についてそこ今少し説明あったんですけども原燃側から追加で説明あったらお願いします。はい。日本原燃石田でございますはい。まず再処理でやらなきゃいけないことという項目出しの認識としてはまず、
00:32:19	先ほどありました設計説明分類等の設定をしないといけないということで考えております。前回までは、SAのところは重大事故が今日中に入る前の整理の中でやるという話をさせていただきましたが、
00:32:33	そういう切離しもあんまりしにくいですので設計説明分類については、技術設計基準SA合わせて、この①番、ノース、
00:32:43	取り組みの中で答えを出していくと、いうことで考えてございます。スピード感は先ほどお話をした通りでございます。

00:32:52	今回も参考3ということでSAつけてますが、こういう試行で今検討してますということこと具体については7月7日の
00:33:03	進め方の中でお話をさせていただければと思います。
00:33:07	まだ分類をしながらも、なぜそうなのかというところまで背書ききれてないところがありますので、そういったことも整理をしながら、分類委員の設定の考え方について、
00:33:20	7月上旬といったところで、説明をさせていただければと思います。
00:33:24	また②番のところについては、SA 竜巻溢水についてそれぞれ共通に入る前に整理等を行っておきたいと思っているところを書いてございます。
00:33:37	衛星については前回もお話をさせていただいておる通り、DB等評価条件日評価報告等を合わせてやるものの、DBとSAの切り分けの整理をすると。
00:33:50	いうこと、あとはSs-A側の基本設計方針とか添付書類、共通的なものを個別の説明、2番はそれぞれの役仕分けをどうするかといったような整理を、
00:34:01	大きく二つやろうと思っています。
00:34:03	整理方針と整理の進め方については、この今後の進め方の部屋の中でやらせていただいた具体の結果は、理事がヒアリングして別途設定をするということで考えております。
00:34:15	竜巻については、これは供給中に入る前に基本的な設計方針というのがどうなのかというところ、大きく二つ、例、地震による相対変位に係る波及影響の話と、
00:34:29	開口部の設計の考え方というものを、まず基本どう考えるのかということ、整理をさせていただく必要があると思っています。そこを、今後の進め方の冷やの枠、
00:34:42	を使うか土量が多ければ、同じタイミングで別部屋として、
00:34:47	徹底をしながらやっていくということだと思いますが、それぞれ整理をしてご説明を今後させていただきたいと思っています。
00:34:54	竜巻のこと具体性があまりないんですけども、いろんな今の設計を考えたながら、どう説明していくかを今検討中ということでございます。

00:35:05	由井については先ほど前回ですねヒアリングでも、この今後の説明、進め方のヒアリングの中でも説明をさせていただきました条例の別紙1のコメント対応も含めた、どういう整理になっているかというのを、
00:35:17	共通に先立って整理としてご説明をさせていただくと、ということで、佐瀬喜納ということで考えております。
00:35:28	はい。
00:35:30	バイトながら一つだけ急に置いている、溢水の後に、二つポツがありますけど二つ目のぽはSDの話ではなくて全体の話なのでちょっとそこは失礼いたしました。はい。
00:35:41	はい。以上でございます。
00:35:44	こっちの山口です。それ再処理について、ここまでで規制庁が確認ございましたらお願いします。
00:35:53	規制庁の田尻です。先ほどの話の中で最初に関しては4ページとかで、ざっくりしかなってないところに関しては今後具体化されるんだと思うんでそこお願いしますというところ。
00:36:03	ですけど、
00:36:05	ちょっとそれ成分飛ばせてしまって申し訳後でいただけますけど、竜巻に関してなんですけど。
00:36:10	竜巻に関しては結局前回ヒアリングで示したものとほぼ変わらないスケジュールが示されてそれまでの相談をやらないっていう方針にも見えるんですけど、まずそういうことでいいんですけど。
00:36:23	はい。各電力の石黒です。おそらく、なぜこれだけ時間かけるのかって言ったような話かなというふうに思うんですけども、開口部、特にちょっとあの開口部に関しましては、
00:36:37	前回のヒアリングに於いて、実験でとかいろいろ、通っているかなといったようなご発言もありましてですね、根拠となるものを、
00:36:48	少しちょっと時間をいただいて、あまりその意味のない議論、
00:36:54	生産拠点ながら意味ない議論はしたくないというふうに思っていると思いますので、どこの説明が可能かっていうのをしっかりと見定めてからお出ししたいなというのがちょっとこちらの思いでして、
00:37:06	少しちょっとお時間をとらせていただきたいというのが、こちらの考えでございます。
00:37:12	以上です。

00:37:13	清町の谷です。前回のタイミングで確かに根拠がないんで説明できないですって話はしたんですけど、それは後、後ろの方に行った時の話であって、まず設計方針話した上で、そこんとこで何の材料をそろえるのかちゅう話を聞いてからやった方が、
00:37:30	それこそ出戻りがないんじゃないかちゅうので、資料がいっぱい積まれるっていう状態でなかったとしても方針説明できないんですかっていうのが、前回、先週ですか先週金曜日ぐらいの話だった気はする。
00:37:41	けど、
00:37:42	今のお話だと、元の設計方針としてはもう決まってるでいいですよねそもそも会合とかに言った一番大枠はさっき石原さんが言われたように、一番大きな設計思想とか設計方針説明してくださいねっていうところから、
00:37:56	田尾は知ってる気はするんですけど、そこで今どういう状況なんでしたっけ。
00:38:03	はい。関西電力の石黒です。
00:38:05	設計方針としましては、前回の資料に少し書かせてもらいましたけれども、
00:38:11	やはりですね斜線というものを、が、特別、安全上重要な設備にない物が当たるといったところに主眼を置いているというのが、
00:38:23	いっぱいございまして、それをですねそうですというふうに説明申し上げても、多分、議論がちょっと、
00:38:32	前に進まないかなというふうに思ってます、
00:38:35	斜線という考え方はもう少し技術的に根拠をどうやってつけていったもので一度衛藤、
00:38:43	考え、このような考え方でいいという形で、ご説明する必要があるかと思ってます、2ページ、
00:38:49	そのですね、それに対して何も考えてなかったのかというふうに言われてしまうとなかなか、うちが面あるところは、なきにしもあらずなんですけれども、今この場でですね今あるものをお出ししたところですね、
00:39:04	有益な議論にならないかなというふうにちょっと考えていたこともありましてですね、お時間をいただきたいというふうに考えているものでございますすいません。萩尾はって持ってないです。以上です。

00:39:15	清町の田尻です。
00:39:18	事業者がどう説明するかなんで、事細かにも言わないんですけど、
00:39:24	なんか要はこれまでその説明ができていなくて、ここ数週間で何か根拠が示せそうな見積もりがあるってことでいいですか。いや数週間待った上で、
00:39:34	いや、普通に考えてまずくしか飛ばないですよっていう会話だけしても結局数週間待っただけ無駄になるかなっていうのを少し気にしてるだけなんですけど。
00:39:46	赤瀬電力の週をですね、まずはですねちょっともう、故障時間いただきたいということで、この日にちを設定させていただきましたけれども、
00:39:57	込み入って議論するまでもなく、ちょっと考え方はこうしますっていうような動きもあるかもしれませんのでですね、その辺ちょっと2、3静的の状況を見ながらですねお話ししたいと思ってまして、
00:40:13	繰り返したって申し訳ないんですけども、当然ながら少し早く出せるような見込みが出ましたらですね、地方の、このできるとか関係なくですねお出しをしたいと思うんですけども、
00:40:25	一旦ちょっとこの日付を行って対応させていただきたいというものでございます。
00:40:29	以上です。
00:40:30	規制庁古作です。10 ページ開くとですね。
00:40:36	今ちょっとこのスケジュールでって言われたやつは、13日に資料提示をして、
00:40:45	それを進め方ヒアとセットで翌日に、
00:40:50	話をさせてくれっていうことを、
00:40:52	さしてます。
00:40:59	はい関西電力の石黒です。はい。ドア、おっしゃる通りです。
00:41:09	資料の方もはいそんなボリュームにあるのあるものになるとは思ってなくてですね考え方ということで、はい。もしそのボリューム増えそうでしたらまたそれさしていただくかなと思いますけれども。はい。以上、その通りでございます。
00:41:23	はい、古作ですて、これもう、今井は私が言った日付のやつを波及的影響と書いてあって、その2週間後には開口部っていうのでまた同じように、

00:41:37	27日に提出、28日、
00:41:42	ヒアリングとなっていると。
00:41:44	ということで、これもう、
00:41:47	同じく、
00:41:49	1ヶ月も検討したことについて、
00:41:53	そんな大層な資料とは思ってませんで、
00:41:57	翌日にさらっと話ができればと、何かどっちとも何を言ってるんだか全然わからない。
00:42:03	ですね。
00:42:04	1ページ程度っていうことであればさっさと来週やりましょうよ。
00:42:09	いう感じがするんですその上で、具体的に詰めなきゃいけないところっていうの認識を合わせて、作業を積み上げていただいて、その積み上げた。
00:42:20	結果は、
00:42:21	今言われたような位置のところで出して、
00:42:24	で、そうするとヒアリングは翌日ってわけにはいかないから、
00:42:28	区別部屋の設定をしてくださいっていうことだと私は、前回の日堤片平のとき思ったんですけど。
00:42:36	どうなんでしょうね。
00:42:41	関西電力の新保でございます。
00:42:45	波及的影響のものに関しましては、
00:42:51	対象ものうているところもありまして、それでも遅いって言われてしまってるところがちょっとあるんで、よろしくなんですけれども。
00:43:03	これは開口部につきましては、
00:43:07	ここに、
00:43:09	論点に挙がっていたところも含めまして、対応。
00:43:14	どのように対応したのかと。
00:43:16	いったようなところを、
00:43:18	事実関係としては、確認をした上で、
00:43:23	ご説明をすると。
00:43:25	いうふうに思っておりますですね。
00:43:28	それを踏まえてですね、考え方。はい。学校規制庁古作ですけどすみません。加古能氏。

00:43:36	すてきなり何なりを把握してっていうのは、1日でできますよ。
00:43:43	その上で、どうしたらいいかっていう議論は時間かかるかもしれませんが、どうしたらいいかというよりはまずは課題認識をちゃんと共有していきましょうと。
00:43:55	ということなので、
00:43:59	それだけでもまず、
00:44:01	やりませんか。
00:44:02	それだったらもう来週早々にできると思うんですけど。
00:44:13	はい。関西電力の石黒です。来週の進め方、はい。
00:44:19	出せるものをちょっと出していくべく、ほぼ対応してみたいと思います。
00:44:24	ありがとうございました。以上です。
00:44:28	規制庁古作ですすみませんなんか決め打ちで、言って様々でちょっとく苦しそうな回答になってしまうので申し訳なかったんですけど、課題認識として少し整理をしてですねその上で、
00:44:41	今書かれている、13日14日だったり二十七、八だったりというところに、どういったことをやらなきゃいけないのかっていうのを、少し話をして、
00:44:55	なんか今だとゼロベースで文言等、現代で議論をしてみたいなところは、もう少しこちらのイメージも踏まえた検討にして内容が少し自体時点では話ができる。
00:45:09	いう状況にまでしてってもらいたいなと思いますのでよろしくお願ひします。田尻さん1件お返します。
00:45:17	久世さんありがとうございます。
00:45:18	スケジュールは自分も気になったんで助かりました今調査官にも言っていただいたんですけど原燃で何かの理論武装をしたいんですけどっていうふうに言ったときに、何の理論武装をするかっていうところの認識合わせずに、何でもかんでもやろうとしても手間がかかりすぎるだけだと思うので、
00:45:34	どういった方針で今整理しようとしていて、この部分について今後確認して説明しようと思ってるんですけどっていう話を聞いて、
00:45:41	法人がおかしくなければその理論武装したもの。
00:45:45	ねえ。

00:45:47	今登坂に行っていたいただいたような流れで説明の方が先々見越していいかなというふうに思いますので、よろしくお願いします。
00:45:56	はい。関西電力一緒でございます。承知いたしました。
00:46:03	規制庁の芳賀です。
00:46:05	ちょっと1週間系について確認したいんですけども、
00:46:14	整理方針とする。
00:46:20	7月の中旬
00:46:25	江藤十時17の提出等が消えちゃってるんですが、これはその前に、全体で進めよう。
00:46:33	からの影響でどうなるかわからないから
00:46:38	うん。
00:46:39	はい。乳井西原でございます。まずはすいません私が勢いで技師があるので、
00:46:46	ここで言ってるスケジュールに合わせて説明させていただきたいと思えますただ、
00:46:52	いろいろ入れ替えしてたのはおっしゃっていただいたように1月上旬から始まるものの影響も踏まえて、17どう検討していくかということも考えなきゃなと思っていたところで、スケジュールで1回消して元に戻すの忘れたというところでした。はい。
00:47:07	規制。
00:47:24	の今後の進め方費が出る。
00:47:26	別途説明するっていうことが、
00:47:32	先日、
00:47:40	江藤木坂補充されたりっていう、
00:47:46	大分変わって、
00:47:49	はい、弓削ネシアでございます。ドラスティックに変えるというよりは今ポインター載せ、この分類にしますって書いてるんですけどなぜそう考えたのかっていう考え方を付して、整理を、
00:48:01	どういう施工をしたのかってのがわかるようにして、DB設計基準設計分説明ぶりと合わせて資料としてはつけようと思ってました。
00:48:13	規制庁の藤原です。今回の資料では説明の時にも石原さんから、
00:48:29	うん。
00:48:30	プラスその四分

00:48:37	えっと、細かく説明すると。
00:48:40	考え方
00:48:42	を検討した際の、
00:48:44	検討した様を見せたいからっていうので参考程度につけるっていう状況 なんでしょうか。
00:48:56	古作です。
00:48:58	ちょっとサンコーさんに言うはですね私物申したいことがいっぱいあっ て、
00:49:05	そもそも今の、
00:49:07	藤原の質問も、
00:49:09	どういうフェーズで進めていけばいいですかってということなのかなって 気はするんですけど。
00:49:15	ちょっとただ原燃の整理を待ってもしょうがないような気もしていてせ っかく今日出されたのだから話をしたらいいかなと思ったんですけど、 話ができる環境になってるんでしょうか。
00:49:29	はい。宮城石田でございます。はい。
00:49:32	菅環境になっております。はい。
00:49:38	規制庁古作ですわかりました。したらのお話をしていこうとは思って ますが、それは今がいいですか。耐震とか踏まえた後はいいですか。
00:49:53	はい。握り者でございますそうですねはい。順番的には耐震をやった後 の方が、尾根がそういう形であればと思います。はい。
00:50:06	はい、古作です。わかりました。資料3、参考3のところの具体につい てはちょっと阿藤後というか、この
00:50:15	時間を確保してということにして、その手前の枠組みみたいなとこ ろ、進め方みたいなところで、話ができればと思いますけどその点で藤 原さん。
00:50:27	何か言いたいことある。
00:50:29	清町の橋村です。いえ、
00:50:34	むしろ、
00:50:45	はい、規制庁古作です。それではですね、私から1点だけなんですけ ど、
00:50:53	2 ページ、

00:50:58	1 ページの後半からということで、(2) 全体になるんですけど、今のその重大事故対象設備の話っていうのは構造設計として考える
00:51:10	何対して健全性を確保するかみたいな、インプット側からの整理っていうのも入っていると思ってて、
00:51:18	そうすると、溢水、
00:51:23	が重大事故対象の整理に引っ張られてみたいなこととも、
00:51:30	類似しますし、さらに言うと、
00:51:33	それと他の。
00:51:35	JB 設備も絡んでくるということになるかなと思っていてそれが 1 ページの最後 2 設計基準重大事故って分けてもねみたいなふうに
00:51:47	考え直したということにもなってるんだと思うんですよ。そうすると、
00:51:54	この重大事故の整理っていうのと、
00:51:58	全体のその設計説明分類の設定というのがどういう関係にあるのかなというところがあって、4 ページだと、まとめてと言いながら、列は二つになっていて、別、今日は二つになっていてですね。
00:52:13	この辺りどう進めるのかのイメージを改めて教えていただけますか。
00:52:24	はい。日本原燃石原でございますはい。そこは多分タスクが明確にできてないような気がします 4 ページでいくと設計説明分類と書いてあるところの、7 月上旬からと。
00:52:39	言ってるところで、DBSA 合わせて、全体としての設計説明ぶりの考え方を置きながら、具体の設計、説明ぶりの設定、
00:52:49	説明の進め方みたいなものを、をやりたいなと思ってました。
00:52:53	そこが、おっしゃっていただいている通り、SA の整理方針は溢水との関係の整理方針も含めてどこでどういう設備の機能設計を書く。
00:53:04	説明するのかというところとリンクをして多分それぞれの設計説明分類で説明しなきゃいけない範囲ってのも決まってくるのかなというのもあってそこがまだ頭の中でうまく整理ができてない状況でもあります。
00:53:20	はい。素行、さらに具体化してどうやって進めていきたいのかっていうのをお示ししないとスケジュールともにマッチしないかなと思いますので、
00:53:30	継続、すいません頭の整理をさせていただければと思います。以上です。

00:53:35	はい。規制庁、大作です。おそらく、一番上に書いてある設計説明分類の設定っていうのは、全体を示すタスクになってると思うんです。
00:53:45	結局はこの後の
00:53:49	5 ページ以降の MOX で整理したものを作るといのが、アウトプットであって、その内数である設計説明分類で何を
00:54:02	グルーピングするのかといったときには、SA としてどう分けるかだったり、それへの波及影響とかを考えた溢水件。
00:54:13	AD の方とどう絡めながら説明するのかということがあったりと、
00:54:19	ということだと思いますので、
00:54:23	4 ページの重大事故だったり、ちょっと真木だったり水だったりって言うてるのは、結局そのアウトプットは説明分類。
00:54:31	入っていく。
00:54:33	ということだと思いますので、
00:54:37	逆に言うとそれがやらないと最終的に説明分類作り、
00:54:42	仕上がりにませんよっていうことだと思いますから、次回はもう少しそこら辺の最良の進め方っていうのがわかるようにしていただければと思います。
00:54:55	はい、二本木西原でございます。はい、承知いたしました。
00:55:01	はい。規制庁小阪です。すいません 1 点と言いながらその上で、4 ページの今のところの吹き出しにですね、
00:55:11	再処理、廃棄物管理の設計説明文の設定等、今後の進め方冷やで説明となっていて、先ほど MOX との関係っていう話もしましたが、
00:55:22	廃棄物管理、
00:55:25	がどこに分類に入っているのかということも明確にさせていただいて、それでどう進めるのがいいかと。
00:55:34	いうことをわかるようにしていただきたいなと思ってます。これは MOX もなんですけど、結局そのそれぞれやっぱり申請は別なので、
00:55:44	全部をまとめて同時認可でいいということなのか順序に整理ついたものから行かせて欲しいということなんですか。それによってもどうす、順番にやればいいのかっていうこともあると思うんで、
00:55:59	その点も
00:56:01	孔口が整理つく段階っていうのは 8 月中旬っていうことだと思いますので、その際にはそういったところも

00:56:10	元の考えというのを示していただければなというふうに思ってます。
00:56:17	はい、与儀西浦でございますはい。ありがとうございます。はい。今ボックスを特出しながら進めているのもモック数は、再処理廃棄物と切り離して、
00:56:29	認可をいただきたいという前提も含めて整理を進めさせていただいてますんで再処理と廃棄物管理はどのようなタイミングなのかということも含めて、全体のグルーピングだったりを整理をさせていただければと思います。以上です。
00:56:48	規制庁山口です。
00:56:50	すいません私の方からちょっと一斉に関して1点確認させていただきたいんですけども、
00:56:57	もう前回のヒアリングで田尻の方から質問して、した内容とちょっと重複してしまうんですけど前回
00:57:05	接戦説明本まだ社内でも、
00:57:08	定まっていなくてなかなかでの回答だったので、ちょっと確認なんですけど、教授
00:57:15	名の前に、野地久世の資料、別紙キーの説明を合わせて進むと思うんですけど、
00:57:22	これ先ほどもこれまでのコメント回答を含めてどういう整理があつてるか、この00資料の別紙1で説明しますということで、
00:57:31	話があつたんですけど。
00:57:33	これ、総務の中には結構その具体的な設計に関わる話とかもあつてそういうのは多分、評価条件とかで、後の共通12の中で進めていく中で話してくと思うんですけど、この0で、
00:57:47	資料別紙1で説明する範囲っていうのを、
00:57:51	ちょっと認識確認させていただいてもよろしいでしょうか。
00:57:59	日本原燃今村でございます。
00:58:03	前段のところですね、コメント回答については、いただいたものに対しては、基本的にはすべて回答しようと思っております。
00:58:12	ただ、回答の仕方として、
00:58:16	もう別紙1の中で回答させていただくものと、その他ですね、個別の補足説明資料のところに、

00:58:25	こういういただいたコメントは、補足説明資料に、ここに反映 A としますというものが書いているので、
00:58:37	一旦コメントを、の方向性を説明した後で個別のところの説明するという、そういうやり方とですね。
00:58:46	に分かれるかと思っておりますけれども、基本的には、一旦いただいた回答についてはすべて、00 の別紙 1 のところで触れさせていただいて、
00:58:56	回答しようかと思っております。以上です。
00:59:00	はい。規制庁山口ですがわかりました。そういう細かいという話は一部補足に飛ばして、飛ばすことになるからそこ今後こういうところで説明しますっていう方針を含めて、
00:59:15	方針を別紙 1 の中で説明することで一通り回答するっていうことで、
00:59:21	了解しました。
00:59:24	そう。
00:59:25	他、(2) に関して規制庁側から確認ございますでしょうか。
00:59:34	もうよろしければ続いて、2 ポツの耐震関係について原燃側から説明をお願いします。
00:59:42	はい、新しい関係って言って関西電力等々、
00:59:45	説明していただきます。このですね進め方、前回ちょっとご提示したものにつきまして、我々のところの認識が認識といいますかちゃんと認識通りになっていないところとか、そういうところが、
01:00:02	あったので、ここで聞いているもんでございます。修正してるところをご説明を申し上げ、
01:00:08	①のデータ隔離をもう補足説明広井修正建水共生型サービス以外の場所につきまして、ここはですねこのですね A から C の完全に広井修正してると。
01:00:21	ということのご説明だったんですけども、資料
01:00:25	私に
01:00:27	いや、
01:00:28	表の設置についてこれ抜けておりましたのでこれをたたきいただきまして、これも
01:00:33	何にしろ、提出
01:00:35	拒否やと、いうことで入れさせていただいております。
01:00:38	すいませんちょっと申し遅れましたけども全体にですね、

01:00:42	やるべきことっていいですか検討内容をまず書いてそれが現時点において、どういうプロセスにあるかということを中心に、改正で資料提出が予定をどういうふうに書いてるか。
01:00:53	いったような構成に並べ替えまして少しわかりやすくなるに交付してみたものでございます。
01:01:00	④現在行政に係る検討のところ、ここをですね、認識いたしまして我々逆。
01:01:07	お三方大事検査検査を、
01:01:11	三井
01:01:12	この分析結果なりを、これにしていくということでございますけどもこの三行について、やっていくんであるとか、いうことをきっちりここで書か
01:01:22	みたいに、
01:01:23	いや内容的にはですね。
01:01:24	現時点におけるそれぞれのプロセス、
01:01:29	これ以前も申しあげましたように、柳生地権者との相談調整中ではありますがけれども、材料試験につきましては事業者の検査時、
01:01:40	確認精査とそれから協会のデータから
01:01:43	かかるよう今検討しているというところでございます。
01:01:47	3系統につきましては、このたび兵庫県工事検査というのやってるわけですけどもこれボーリング調査追加の予算の項目にかかりますんでこれちょっとBポツ、取り出した
01:02:00	で、地震観測記録による分析につきましては、これもですね、他業者さんの検討の内容の確認データを行います。
01:02:10	追加分析期間を検討。
01:02:12	というのが今、
01:02:15	ヒアリングでまたご確認されると言ったようなことから、
01:02:21	後テスト予備日を予定でございます。
01:02:24	発のところに関しましては6月30日、これ前回ELOCAという、
01:02:30	ちょっと30分ください。
01:02:33	データとかは一応できるところは書いてございます
01:02:37	ベビーパスは、
01:02:39	他のを追加

01:02:41	で理論
01:02:42	こちらはですね、
01:02:44	これギャング形態の方法や他事業者での検討に
01:02:47	飯尾間確認
01:02:48	で下水磯部にかかるデータを追加をすること。
01:02:55	今のプロセスでございます。
01:02:58	ボーリング調査の費用について、横尾伊達と
01:03:03	で、この検討結果をまとめてやろうとしている生田目リーダー。
01:03:11	えっと D 資料テスト日が予定。
01:03:14	声とな。
01:03:15	やっぱり、ほぼヒアリングを確認いただくということから、
01:03:20	ところでございます。3 番目基本地盤モデルと平成 2 番までの 3 の整備 分析でございますけれども、これ塔屋事してるのがポツで書いて、
01:03:30	いたんだけどちょっと具体的にですね
01:03:34	何のことか。
01:03:35	ような機会にもなって、
01:03:37	いうところでございます、今、逆プロセスとして何をやってるのかと いいますと各施設、
01:03:44	たけても踏まえたと言ってますけれども、原燃の施設
01:03:50	を建物、
01:03:51	物に設置されるの機器をこれまで念頭に置いて、ここの我々、
01:04:01	布田の今の時点で、大変ちょっとおくれればせながらですね現在耐震評価 すればならない施設は、
01:04:11	時に堂々なり土木構造物なりすべてを見たときに、この入力地震動をど う扱っていくかというのを、ちょっとちゃんと整理しなきゃなくっちゃ いかないと、いうことが我々にしてございまして、
01:04:24	何までやってへんかったんやと、今までその通りなんでございますけど も、ちょっとそれをやりたい。
01:04:29	いうところでございます。
01:04:31	なんでそういうふうな形
01:04:33	は欠席方法を踏まえました。この基本基盤
01:04:37	さっき今、

01:04:38	の、入力地震動の比較の考え方っていうのをこれを変えていきたいということをやっていると。
01:04:45	それを踏まえると、平成地盤モデルの扱いの考え方についてというのが、
01:04:50	ご提案をして、ご提示できるであろうということで、これをまとめているところでございます。
01:04:55	で、今申しあげましたようにちょっと検討箇所についたところでございます、まだ具体、ここまでにこういう整理をして加工用に、
01:05:04	いるよねっていうところ、ボタンちょっとお示しできる段階に今なっていないので、今予定について、協議検討状況を踏まえた設計かいったような記載。
01:05:14	いただけるというところでござい
01:05:16	修正箇所中心ですけども、ご説明は以上でございます。
01:05:21	はい。規制庁山口です。
01:05:24	それであと耐震関係について規定経路は各科にお願いします。
01:05:30	あと、規制庁コミュニティーです。
01:05:33	先週の金曜日も話を聞いたんであんまり聞くこともないんですけど、
01:05:38	特にその②番の減衰の話は何するかっていうのは6月30日に資料が出てくるっていうことなので、それを、
01:05:48	見ればわかるんだろうと。
01:05:49	いけますね。
01:05:51	ちなみにあのスケジュールこの3ページである程度の目安のスケジュールはありつつも、10ページですかね。
01:05:59	9ページ以降のスケジュールに、特に地盤関係が載ってないんですけど、これは反映漏れということでもいい。
01:06:09	関西電力の方でございます。おっしゃる通り反映漏れでございまして、私、こちらに搬入して欲しいという連絡をする
01:06:18	失礼しておりました。申し訳ございません
01:06:22	はい。規制庁神です先週の資料もそんな感じだったので、ちゃんと落とし込むようにしておい
01:06:29	て、
01:06:30	阿藤。
01:06:31	中身の話じゃないですけど、下線が変更箇所のものにも思いつつ、

01:06:40	例えば上の方の岩盤 100 円の物性値等の 7 月微減。
01:06:46	資料提出みたいなところは、先週と変わってないのに、下線が引いてあったり、よくわかんないんですけど、8000 件一応あれですか、変更したところっていう意味では言ってくれてるんですか。
01:06:59	宇野でございます。ちょっと単位がそうですね。わかりにくいで申し訳ないんですけども、9 日転機てるところをご覧ください。
01:07:08	プロセスの方と、平野提出予定の講座、これを分けたので、ここんところ全部でいいんだといったようなところになってまして、変わったところを全部引いてることにはなってないというのでちょっと、
01:07:21	他のところと記載がですねちょっとが取れてないというのはおい申し上げます。意図としては、この二つについて元気だということで、
01:07:32	はい、規制庁紙です 1 ポツなんか多分変更点。
01:07:36	に下線を引いてるってことなんで同じ資料ですから、体裁を合わせようし、
01:07:42	すごい。
01:07:46	はい、承知いたしました。
01:07:50	はい、規制庁上津、あとはそうですね最後話をしたいと③番の、その各施設の耐震設計方法を踏まえた上で説明が、
01:08:02	よくわからなかったんですけど、
01:08:05	渋りからすると今ここを掘っても仕方がないような感じがしましたがまた次回の説明方の時とかに、もう少しその考えていることだったり今、どういうところを、
01:08:16	を進めているかみたいな話が聞けるとっておいていいですか。
01:08:23	関西電力の郷でございます。議会の進め方に今週の金曜日だと思いますけれども、ここまでに、
01:08:30	をするかという、それはちょっと難しいか。
01:08:33	何のことやわからんと、いう今ご指摘あったと思いますので、ちょっと具体論として、何を悩んでいるのかと。
01:08:44	というのが若干なりともちょっと伝わるようにと思って今ちょっと申し上げますけれども、
01:08:51	えっとですね、この基本地盤モデルとして今モデルの扱いを今後検討していかなくちゃいけないと。

01:09:01	いう時にですね、今まで我々その関係性をどう見てたかという、建物に入る。
01:09:11	波として、基本地盤モデルとそれから今まで使ってきた清閑谷モデルがあって、この
01:09:19	関係性で、どちらを責任使えるかというのを決めていかなきゃいけないというようにしております。
01:09:27	手術はですね、建物と建物に、取りつく機器だけじゃなくって、例えば道道
01:09:33	とかですと、その入力基本地盤モデルを設定したとしてですね、その入力を用いたアウトプットといいますか、応答解析の中にその地盤の要素が入っていると。
01:09:48	いったようなことがあるというのを念頭に置いたちょっと整理をして、
01:09:53	そのあたりをどういうふうに我々設計、扱っていったらいいかなというの悩みということでございます。答えるとしたらそういうところを悩んでいて、ちょっと
01:10:02	県での今後の扱い方というのを少し我々の中で検討させていただきたいということでございます。以上でございます。
01:10:12	規制庁管です。まず今週金曜の進め方のヒアリングがリスクになったと記憶してますけど確認しておいてください。あとは、
01:10:22	堂々回りますよねっていうのは、これまでも伝えてきたことで今更何をもっていう感じがしましたが、
01:10:34	す検討を進めて話をしてもらえればと思います
01:10:39	私の方から以上です。
01:10:41	関西電力の牟田でございます。リスクを把握してもらう時に
01:10:45	向こうから身内を受けまして、申し訳ありません。それから労働のことおっしゃる通り活動、
01:10:52	私の認識も、
01:10:58	安全性とかをしっかりと進めてます。以上でございます。
01:11:05	成長山口です。岡耐震関係について、規制庁は泊にありますでしょうか。
01:11:13	規制庁古作です。ほぼ、網でのいったところに法案をされるんですけど、
01:11:22	2ポツの①②、

01:11:27	③と分けているんですけど、結局は1、大本で、
01:11:32	立ち返る等、一般的標準的な手法としてどう構成していくべきものなのかと、その認識に立ってということになって、
01:11:44	全部が関連してくるものになるんですけど、何かバラバラな対応のように書かれている。
01:11:51	ですね。
01:11:54	説明できるところからやっていきますっていうのは別に構わないのではありませんけどそのあたり、関連性どう整理をしていくかっていう何か一考えはあります。
01:12:05	田尻工藤でございます。各検討の関連性はおっしゃる通りだと思っております。ここの整備はですね、都民の進め方、
01:12:16	パツといたしますかご確認いただくプロセスなり、そのスケジュールなり残りがちょっとご提起するのかなという頭でこの資料は作っております。
01:12:27	その頭で言ったときにですね、もともと4駅だってそのヨンイチイチをまとめた地盤モデルを設定するというのが、これが
01:12:36	流れではございます。
01:12:37	でも、その中で、前回の会合でもですねお話が通り、減衰定数については未定であるという生活に今なっているということでございます。
01:12:50	ですなのでその未定である減衰様子を消しちゃって0になって、残りのものを①で出して、ステップツーだとこれまで申し上げてきました。
01:13:00	その大手、
01:13:02	丸さんにだそうで衛藤説明
01:13:05	では、もうそれぞれの
01:13:06	国でちょっとご説明していくことになるだろうなというふうに思いましたので、御説明の引き上げ単位みたいなイメージ01003というふうに書かせていただきました。以上でございます。
01:13:18	規制庁小関ですそれでいうと、順番は①②③となっているんだけど、②が前回会合で不足していた部分ということなので、それをまずしっかりと話をしていきます。
01:13:33	その上で①に立ち戻って、全体としての看板の整備ってのは頭の位置に立ち戻って考えていけば、しっかりとまとめていきますと。

01:13:46	そうすると①の世界の中では、②で先行説明したものも包含して体系を明確にしていただけると。
01:13:52	ということ
01:13:53	でそれを踏まえて、③ということで次の展開を説明されるということでしょうか。
01:14:00	はい。関西電力の表でございます。今箱崎さんのおっしゃる通りだと思っています。で、それがですね、②をやってから①をやってそれが全部大塚丸田と言ったようなことをの
01:14:13	時系列を表すというよりは今、ロジックの流れをおっしゃっていただいたもんだと思っていて、②をやって六級でもですね丸井木野。
01:14:24	例えば岩盤の方の分析等の記載の適正化とかそういうのは並行して進めますから、それは並行先で進めていきたいと。で、③の設計での 20 日にもですね、
01:14:35	具体のモデルが決まらないと検討できないということでも大事ですから、これも並行して進めていきたいと。そう。そういう思いがあつてのこのまとめであるというふうにご理解いただければと思います。以上です。
01:14:50	はい、規制庁不足です。今言われた通りですね、私も終わってからとかっていうプロセスというよりは言われたロジックがですねちゃんと整理、
01:15:00	できてるのか、できるように話ができるのかというのが心配だったので、原燃が一番不足していたところなんで、その点が心配だったんですけど。
01:15:10	今の野本さんの説明でその点は認識いただいているような、それで整理を進めていただいて、上出が言ったように、10 ページ以降、
01:15:20	ですね、スケジュールにもちゃんと反映をして
01:15:24	榎本さんだけでなく Steering チーム全体としてどう
01:15:29	組み立てていくのかっていうことが、認識を合わせた状態でヒアリングに臨む。
01:15:36	いう形にまでしていただければと思う。
01:15:39	ます。
01:15:42	はい、野本でございます。承知いたしました。
01:15:46	規制庁日下ですもう 1 点だけ。

01:15:49	今のロジックの整理とかはヒアリングで順次やっていけばと思うんですけど、別途面談でどう戦略立てて話をしていくのかと。
01:16:00	いこのの考えを、決得チームリーダーも含めてですね、話をしているのも、継続して話をしましょうねという、
01:16:10	と言っているんですけど、面談の
01:16:15	打診とかっていうのもない状況のようなんです、その辺りはどうなっ てんでしょうか。
01:16:22	日本原燃の決得でございます。今おっしゃったようにぜひ継続をお願い したい。ちょっと今、野本が説明したですねこのところの、もう少し 具体見えたところで、個別のちょっとご相談にあがりたいと思ってま す。もうしばらくお待ちください。申し訳ございません。
01:16:37	以上です。
01:16:40	はい。
01:16:42	規制庁小阪です。わかりました具体を聞くというよりは進めか進め方と いうかですね、戦略的なところなんて、その点は逆に、
01:16:52	ヒアリングよりも先行して話をしていくことに未意味があるかなという ふうに思っていたので、また連絡いただければと思います。以上です。
01:17:04	はい、承知いたしました。
01:17:10	こっちは山口です。耐震関係について規制庁側から確認ございませ しょうか。はい。規制庁濱崎です。
01:17:18	②の減衰定数のところの、ポチですね。そこに事業者での検討実績を精 査というものがよく出てくるんですけども、
01:17:29	ここで今考えている他事業者っていうのは、ヒアリングで、前回話が出 た、玄海の話。
01:17:38	というふうに理解しておけばよろしいんですか。
01:17:44	はい。関西電力の郷でございます。おっしゃる通りでございます九州 電力さんに今、相談に乗っていただいているというところでございます。
01:17:51	はい。規制庁濱崎です。最近、
01:17:55	の情報ということで玄海の情報も含めてというのはわかるんですが当 然、岩盤の種別、或いはその物理的な性質が違うわけですので、
01:18:07	例えばそれ以外の事業者の方と、例えば何質問なんのですね、サイトの 情報だとか、そういったものも含む含めて6ヶ所のサイトで、

01:18:20	の、適切な評価ができるような、そういう情報をこちらの方では考えて、整理が出てくるものと思ってますんで、
01:18:29	単に玄海の情報だけで比較するのではなくて
01:18:35	そういった六ヶ所の特性の方がいた結果が出てくると、いうふうに理解しておけばよろしいんでしょうか。
01:18:42	重ねるものでございます。おっしゃる通りですね
01:18:47	検討というのも武さんが1人、
01:18:51	いうこと。
01:18:53	が必要だという認識をしてございますんで、そんなサイトも他社さんにも、ご支援を仰ぎながら、これまとめていきたいというふうに考えます。以上でございます。
01:19:03	はい。規制庁浜崎です。資料の方はできましたら確認させていただきます。私から以上です。
01:19:16	支店長山口です。他、耐震関係について規制庁側からありますでしょうか。
01:19:24	はい。よろしければ、東京ね、5ページから進め方、今日は、これは明日90人もあるので特に追加で、本日原燃から説明とかはありますでしょうか。
01:19:39	日本原燃長でございます。はい5ページのやつは、明日の教授が手説明対象と思ってます。
01:19:47	説明。
01:19:48	ません。
01:19:50	はい。規制庁の松木ですねと規制庁からも特にあの方で本日確認したい事項はないでしょうか。
01:20:00	規制庁古作です。確認したいということとことでもないんですけど。
01:20:08	ないんですけど、7ページですね、アンダーラインの引き方なんですけど、説明が完了する条文と言われてるんですが、
01:20:19	7ページの説明グループ。
01:20:23	家においてですね、
01:20:27	8条というのは、関連条文のところと主条文のところ、両方に線が引っ張られているんですけど、
01:20:36	これわあ、グループでっていうことなのでこの二つ抱き合わせで全部ですっていう意味で引っ張ってるけど、

01:20:46	3 番の方にもありますです。
01:20:50	3 番の方に
01:20:51	どういう趣旨でございます。はい。線を引いているのは抱き合わせという表現がいいのかどうかですけど、
01:21:01	やっぱりちょっと見て説明を、
01:21:04	対象として線を引いております。
01:21:10	古作ですあくまでグループでっていうことだってことですね。
01:21:16	はい。乳井元西田でございます。はいそういう整理を今はしております。はい。
01:21:22	南さん、ワークショップです。それで言うと、
01:21:29	条文の後ろに括弧で設計方針の主題みたいなものが書かれていて幾つか、その条文にはあると。
01:21:42	いうところですけど。
01:21:47	ここでその種条文なり、
01:21:52	説明を行う関連条文だったり、書いてあるものは、
01:21:57	設計方針だったり、書いてある、
01:22:01	に關しの比較しては、その場所でその枠として説明しきるっていう川井宮西でございますはい。そういうことで整理をしております後に送ったものもこの中で全体をまとめて説明をしていくつもりで、
01:22:17	括弧書き中、括弧閉じですかね書いてるグループ名だったりも含めて整理をさせていただきました。
01:22:27	はい規制庁不足です。それで言うと、先行でも説明してあるものっていうのはそのあとのグループについては、一番右の別の説明グループで説明を行うというところを書いてあるということで良いですね。
01:22:40	はい。弓削一緒でございます。はい。そういう整理でございます。
01:22:45	はい。規制庁小阪です。わかりました。
01:22:48	イメージで、
01:22:50	明日また確認ができればいいかな。
01:22:53	以上です。
01:22:58	山口ですと、規制庁側から、この表に関連して確認ございますでしょうか。
01:23:07	うん。よろしければ、
01:23:11	さ、最後ですね、参考 3 について、

01:23:15	厳格な説明をお願いします。
01:23:22	はい、乳井西原でございます。はい。5、設計説明文来先ほどもいろいろとやりとりありました
01:23:32	対象への変更点 2 択目視た時に大きな要素である重大事項についてどういった設計説明分類を設定しようかということで、
01:23:43	今考えているやり方をお示したものが、参考 3 でございます。
01:23:51	基本は、第 36 条で書いている基本設計方針の手法に照らして、それぞれの手法に対してどう設計を説明をしていくかと。
01:24:03	その手法に応じた分類をして整理をしていこうかなということで、12 ページ以降ですかね、整理を今進めているところということでございます。
01:24:16	とはいえまだ常設可搬、屋外屋内といったものを、それ以外にまた屋内の SA といったものをそれぞれ主語として抽出してますが、
01:24:28	そういった分類、入れ込んでどういう構造設計等の説明をするのか、どういうふうに合わせてやっていくつもりなのかというところが考え方がまだ聞いてないので、
01:24:41	そういうところを、の追加の考え方を付しながら、本当にこの分類でいいのかというところを整理していかなきゃいけないと思ってます。特に 33 ページにある 1.2Ss の話の金融効率設備といったものを今、
01:24:55	かなり強引に常設の中に入れてたりですねしてますので、
01:24:59	こういったところの主謀の書き分けをどう整理していくかというところを今、着眼点にしてやっているところでございます。
01:25:06	あとは 36 条だけやれば足りるのかというところの整理も必要だと思ってまして、個別脳設備に対する機能要求みたいなものも当然ありますのでそういったものをじゃあどう分類していくのか。
01:25:18	いうところ、あとは先ほどあたりにありました溢水みたいなことで、SA に対する水頭症の考慮をだったり外部衝撃の考慮だったりというところで、
01:25:29	例えば、何らか対策設備で出てきたときにそれをどのフラグをつけてどこで分類して説明をしていくのかというところの整理もあわせてしないといけないという認識を今持っておりますがまだそこまで、
01:25:42	整理しきれてないという状況でございました。説明は以上でございます。

01:25:49	はい、院長山口です。それであと規制庁側から確認をお願いします。
01:26:07	規制庁古作ですけど藤原さんどう進めます。
01:26:12	衛藤。
01:26:13	悩ましいんですけどもともと考え方も、
01:26:18	っていうところからまずね。
01:26:22	衛藤。
01:26:24	一応、7月7日に本当は
01:26:28	もうちょっと説明したいということは図れてる
01:26:32	まず、この資料上で、
01:26:35	と三つのこと並んでるその三つの、
01:26:38	本当はめちゃくちゃ
01:26:46	まず資料上だけで言うと、1
01:26:48	名2ポツ目でそれを上記整理を、
01:27:01	プラス、
01:27:15	うまい
01:27:22	原燃として、
01:27:33	はい。人間ネシアでございますはい。大変恐縮でございます際、結果からさかのぼって次のことをやっちゃってしまっているのが12ページ以降の悪さ加減だと思っておりますので、
01:27:45	考え方としてはおっしゃった先ほどご説明した通り、まずは36条の基本設計方針をキックにして、そこで設計を展開している手法を並べて、その主語を檀。
01:27:59	どういう分抜いてそれを構造設計等を説明していくのかということに着目して整理をしようというのがベースのお考えでございます。はい。そういったことの方考え方もあつたりも含めて、かつ、
01:28:12	うん。
01:28:13	併せて説明をするという場合にどういう考え方でそういう閾値で、これを合わせてやるのか、単品するのかということの考え方も、整理をした上で、示して且つその結果どうだったかというところにつなげていくように、
01:28:29	次回後提示する資料がさせていただきますと思います。以上です。
01:28:36	規制庁小。
01:28:37	規制庁古作ですけどごめんなさい。この資料をどうするかじゃなくて、

01:28:43	何らか考えているからこそ、こんな資料作ったはずで、であれば、書いてないけど考えたことを言ってくださいよっていうのがヒアリングだと思うんですよ。
01:28:54	今の回答がすべてなんだとしたら考えてません考えてきますっていうことで、ヒアリングに値しない状態だということなんですけど。
01:29:03	そういうことなんですか。
01:29:09	はい、二本木西尾でございますはい大変失礼いたしました。はい。
01:29:14	衛藤。
01:29:16	この資料というかどう考えたかというところでいきますと、まず基本、36条の基本設計をし許可との並びも含めて、伊奈見た上で2、
01:29:29	どういうものに対して設計を展開しているのかということの構成からキックにして整理をしようと思ったのが施工でございます。
01:29:39	はいその中で多様性知的技を含め各種要求事項に対して、構成としては常設重大事故等対処設備は、
01:29:51	可搬型重大事故等対処設備はというのが大きな仕事として存在をしていると、当然これごとに設計が展開されていると、いうことと、
01:30:01	あと設計方針を見たときに、やはり外的な要因に対してどういうふう設計した時に外気から漂流に対するうち抵抗するかというのが、一つの要素としてそれが、
01:30:13	屋外の重大事故等設備はこうだということと、建屋の中に入っている設備とかこういう設計をするんですということで、設計方針が展開をされているということと、
01:30:24	整理をしながらその手法で設計説明分類が分けられないかと、それは要求事項がそういう分類なので、これを設計説明文として展開をして、
01:30:36	共通順位の構造設計等の説明を点整理をしていこうと思ったのが、最初の施行でございます。
01:30:45	はい。規制庁補足です。ごめんなさい。
01:30:49	今言われたことであれば、
01:30:53	なぜそれをいつまでかけないんだっていうことなんですけど、
01:30:57	それわあ、間近整理をしていただくとしてですね、
01:31:04	一方で、許可の時に常設重大可搬
01:31:08	設備の方10台と言っているんで、技術基準の36条対応は許可だと3030億かと思いますが、

01:31:18	そちらで要求事項が分けられているので、それに一つ一つ対応するとい うので、申請書上はその細分化を図で書いて、
01:31:28	いるんですね、漏れがないようにということでマトリックスをにする と、マス目一つ一つを順番、どういう順番でっていうのは整理はありま すけど、
01:31:39	全部埋めましょうという形で書いたと。
01:31:43	ということだったと思ってまして、
01:31:46	そうすると、累計とするとマトリックスのそのマス全部ってなっちゃう と多いのでそれをどう束ねますかっていうのが今回のタスクだと思っ てるんですけど、わかりますか。
01:31:58	うん。あとは土産でしょう。はい。認識は同じでございます。はい。
01:32:05	はい、古作です。その時に、今ここで書いてるところです。その時補欠 過半がヘディングの最初でいいのかっていうのがちょっと疑問なんです けど、そのあたり何か考えました。
01:32:29	はい。日本原燃石田でございます。まずは恐縮でございます。3と。
01:32:35	ほとんど疑問を持たずに最初にそこに着眼してしまったので、はい。
01:32:42	そこが駄目なんですよね多分。はい。
01:32:45	はい、古作です。多分そ、そうなんです。
01:32:50	ここはあまり意味がないと私は思っていますね、それぞれ何を求めら れているのかと分析をしていくと、常設と可搬って変わんねえじゃん ってことが多分にあるんだと思っています、
01:33:02	それが
01:33:04	ほぼ、
01:33:07	的に置いてしまったがゆえに 13 ページ以降も、常設と可搬で分け最初 で分かれるはずのない第 1 項について分けて知っていて、
01:33:17	それがゆえに、右側に行くとまた、常設が入口なんだとする下流も常設 になっちゃうよねってということで、何やってるかわかんないっつになっ てるんですよ。
01:33:28	で、大本でいうと、許可の本文添付っていうのはありますけど、それを 作り込むにあたっては整理資料での議論が大分あったと。
01:33:39	ていて、
01:33:40	整理資料って見られました。

01:33:45	はい、宮城石田でございます。はい。33 条等の整理資料日、おっしゃっていただいているようにマトリックスを作って、ユウキュウジコウタイは常設可搬でさらにさらにそれを分けて、
01:33:58	分類をしながらどこどこが一緒かみたいな整理をしている表 5 に確認して認識をしておりますはい。
01:34:06	はい。補足です。例えばでもありますけど、再処理の
01:34:14	目標も再処理と並んで作っていったと思うんですけど再処理の 33 条の整理終了では、
01:34:23	わかりやすい実例で言えば、
01:34:25	458 ページとかですね。
01:34:30	ええ。
01:34:31	多様性位置的分散に係る、
01:34:35	考えなきゃいけない項目というのが縦に並びそれに対して、類型として右のを横軸に並べていると。
01:34:45	ということでその時の類型の表現としては
01:34:50	まず内的快適で大きく分けてその下に常設可搬で分け、
01:34:57	常設に対しては、
01:34:59	もともとの設計として安重か新設かと、非安重かと。
01:35:05	ということで分けてという形になっていて、さらに中の CABRI として、屋内の家屋内の、
01:35:15	赤で繰り越してくるかということの中でそれに応じて的対応が違っていると。
01:35:22	いう形でマトリックスが作られてます。
01:35:26	このどれを最初に持ってくるのがいいかっていうのは
01:35:30	整理のする趣旨によって違い得るので、必ずしもこうである必要はないんですね、今のやつで言えば内的と外的とい言いはするけど、ナイキオンリーであれば内的のところをやればいい。
01:35:43	ということですけど、両方使うものであれば、どちらかの厳しいところ取りをすることになって結果、大体は外的の関係になるのかなと思うんですけど。
01:35:56	そういったところを並べてみたときに、これを同じだよね同じで説明できるよねと、違うね。
01:36:03	違う量はどのぐらいかね。

01:36:05	ていうところの、
01:36:07	概要をさっと説明いただくのが今日の12ページだったんじゃないかなと。
01:36:13	いうふうに思っていて、先ほど主語がどうなってるのかといったところで先ほどの分類の話が
01:36:23	言い尽くせているのかどうかということだと思うんですけど、
01:36:30	内的外的常設、可搬アル中非安重屋外屋内、
01:36:37	以外に何かありました。
01:36:55	はい、与儀西原でございますはい。
01:37:02	もともと考えてたのはその分類。
01:37:08	ぐらいと。
01:37:09	はい。
01:37:11	ちょっとこれ以外に、そうですね気づけていないですね我々はい。
01:37:16	はい、古作です。そうだと思うんです。私も清許可の整理資料とかも比べて、
01:37:23	何か他に何か議論あったかなと思いながら話をしているので、
01:37:29	なので類、
01:37:32	形の概念を検討する上での線、ヘディングとして分かれるものっていうのはそうなんですけど、今言った中でこれとこれ結局分かれるの。
01:37:45	グルーピングとしては同じになるよねみたいなことがあったり、
01:37:49	ここは着目として見なくてもいいよねっていうのがあって、束ねられるものがあるということだと思うんです、屋内屋外がいいのか内的外的がいいのかというようなことだったりで、
01:38:02	どのフェーズをつ
01:38:06	グルーピングの主題にしましょうか、それ以外のものは、枝葉の方にしましょうかと。
01:38:11	いったことを
01:38:13	方針の類似性という関係から整理をされるということだと。
01:38:18	ていて、常設可搬については、奥が
01:38:27	では
01:38:29	常設は固定して、当然固定してあるんで、

01:38:36	ありますけど、過半の方だって固定を、特に原燃の場合は、5で固めてしまってる設計が多いんで、同じじゃねえかみたいな感じがあつてですね。
01:38:46	コバックのところをどうなのかというのは少しありますけど、それであつても共同。
01:38:53	評価をして、あまりますって意味であれば、評価方法が少し違うだけで、
01:38:59	いうことでまとめることだというか、
01:39:02	で、榎谷屋内の
01:39:06	何が違うんだっていう感じになつてる。
01:39:09	す。
01:39:10	なので、どちらかという、最初の、
01:39:16	枝分かれをさせるヘディングの最初って違うんじゃないのかなと。
01:39:20	いうふうに、
01:39:21	てます。で、それで言うと内的が分かれるっていうのは、まさに整理し、許可の整理終了の時に最初に内的外的分けたというところの趣旨。
01:39:31	なるんだと思うんですよ。
01:39:33	一方で、それで、先ほど言った許可だと、
01:39:39	実ヨコワろくう列になつてるんですけど、6列今回いるのかっていうと、同じバリアそのものが、
01:39:49	多いんで、それは食べましようみたいな話ができるんじゃないのかなそれの上で、枝葉としてこれを、
01:39:56	設けていきますとかって言えばいいと。
01:39:58	いうふうに思つてるんですけど伝わりましたかね。
01:40:04	はい。逃げる一緒でございますはい。ありがとうございます。はい。どう、結局はそうですねおっしゃる通り、どうやって束ねながら説明ができるかというところ、これはSAだけじゃなくて、技師も同じ。
01:40:18	そういう着眼点でやらなきゃいけないということを認識しておりますので、はい。整理させていただきます。はい。
01:40:26	はい。補足です。今言われたように設計基準も同じだというのは、
01:40:33	許可の33条の整理資料の中では安重非安重とあつてですね、縦軸を見ると、地震だ、竜巻だ。
01:40:42	水だと。

01:40:44	TVの序文。
01:40:46	になるものも、すでに33条の中であって、そうすると、安全避難所の中でDBと同じ場所があり、あるわけですから、
01:40:55	そこはDBと一緒に説明しますっていうことになる範疇でやってっていうことで、すでに整理済みだと思うんで、見て対応いただいたらもうさっさとできんじゃないかっていうのが私の言いましょう
01:41:08	です。
01:41:15	はい、二瓶西田でございます。はい、ありがとうございます。
01:41:21	規制庁古作ですけど、藤原さん、その上で、
01:41:26	何か言い足りてないとか、
01:41:28	いや、
01:41:32	共同。
01:41:51	音の条件の上乗せだったり Kawase
01:42:09	規制庁古作です。それで言うそうですね、
01:42:13	きちっと整理しようと思うと、許可の整理資料また作り直してみたいなふうになっちゃって、
01:42:19	許可の整理資料もかなりの
01:42:22	月数をかけて整理がされているので、それを改めてやる必要はないですから、先ほどお話したように、数でですね、
01:42:33	大枠としてこういう概念で見えていきました。で、こういうことから、こっちの方で束ねたい。
01:42:42	束ねた内数になっているところの枝葉っていうのはこういう違い程度なので、そこはこういうふうに対応したい。
01:42:49	というようなことで
01:42:52	さらっと。
01:42:53	考え方ということを示していただけるかなと思ってます。で、その上でDBとの関係っていうのも、語れるように、そのつこう分ければこの部分はDBとしたんでDB側と一緒にご説明します土地を確保しますっていう、
01:43:07	いので、溢水との関係ってということについても、一気に説明がつくんだと思います。
01:43:13	で、
01:43:16	当次回って、今だと、

01:43:19	次回の進め方日で何かやるっていう、
01:43:22	でしたっけちょっとスパイね、今の話を踏まえながらどう進めるかっていう振り返りっていうと変ですけど、振り返りっぽくなっちゃいますけど、どんなイメージというか、
01:43:32	お聞かせいただけますか。
01:43:36	はい。宮城西原でございます。はい。DSs 含めて実態の設計説明分類を考えるか、冷静のところの李尾藤の関係も含めて、
01:43:48	7日の進め方の部屋でその前に資料を提示して、どういう考え方で整理をするのかということが、ギブできるようにさせていただきたいと思います。はい。
01:44:10	規制庁古作ですけど、
01:44:14	名乗っカーの堤片平でまた、
01:44:18	今お話しの数枚、考え方と、
01:44:21	ところでお聞かせいただけると。
01:44:23	ということですけど、
01:44:27	基本、
01:44:28	的にはその町 Steering チームとしては石原さんやられてるのかもしれないんですけど、実務者なりってこの辺りの意識はできてるもんですか。
01:44:40	はい。乳井西田でございます isaadb ともに議論をしながらやりましたんで今もう同席をして、認識共有できるようにしておりますので、
01:44:54	関係者同じ認識で作業なり整理が進められるように体制組んでおります。
01:45:02	はい。規制庁日下です。わかりました。許可の際の整理資料作った面もいらっしゃると思いますので、
01:45:10	当時の苦勞思い起こしていただいてですね、そういえばこんなことだったなあというところで、整理を進めていただければと。
01:45:18	ます。よろしくお願ひ。
01:45:22	はい、与儀西田でございます承知いたしました。
01:45:29	はい。規制庁山口ですとか参考。
01:45:34	3、
01:45:35	について規制庁はからないかいますでしょうか。
01:45:40	はい。
01:45:41	ご接待を通してものが原因が追加で説明のありますでしょうか。

01:45:52	はい。弓削西田でございます。前年から特に追加ではございません。はい。
01:45:59	はい、院長山口です。と規制庁がもう全体通して CAQ 追加で確認ございますでしょうか。
01:46:08	よろしければ等それで振り返り、
01:46:12	その前に一旦十分ほど休憩を入れるので、案件がありません。
01:46:18	古作ですけど次の打ち合わせがあつてですね十分あると私が振り返っていけなくなっちゃうんで、5分ぐらいでできます。
01:46:30	はい、弓削に仕上げでございます。はい。
01:46:33	一番のやつと2番はもうできてんですよね。一番2番もできてますんで最後のやつは後でジョイントするし、して、順次始めさせていただければと思いますが、
01:46:48	補足ですありがとうございますよろしくお願いします。
01:46:53	はい。規制庁山口です。それでは振り返りに入りたいと思います。
01:47:14	少々お待ちください。
01:47:16	今画面共有してます。
01:47:34	あれ、荷揚石原でございます。
01:47:38	本日の1ポツから順次いきます。(1)の木製の構造設計等の等の説明ねはい。①バーのところは
01:47:50	と2-2の説明を、00資料の別紙を下する進め方しているが申請書類で説明できるものは、
01:47:59	別紙4が不要ではないかということも含めて全体にどういうふうに説明をしていくのかというのを整理を、説明方針を再度整理をさせていただくと。
01:48:09	ということでございます。
01:48:10	今日中に、資料2サーとの紐づけも整理して、あと解析評価等をどのように展開するかどの資料で説明するかというのを検討させていただくというのが①番でございます。
01:48:23	ぬ2番、2-2の説明、3も含めてですけど設定根拠の話がありました。これは設定根拠、機能説明書と書いてますが各個別補足した個別の
01:48:35	添付説明書ですね、あと計算書等の水、説明の分類があつてそれぞれどういうふうに類型して説明をしていくかというのを、説明の進め方を具体化していくと。

01:48:47	必要があるというのが2番目でございました。
01:48:50	はい。③番はそういったことをどう説明していくかというのを2-2の説明に入る前に、やはり整理が必要だということで第2ステップの説明の、
01:49:04	最初の段階じゃない、説明をしている途中ですねこれは。はい。これ、第2ステップの説明等の並行して、
01:49:14	ヒアリングを行うかということで全体の進め方の中でどういうタイミングでやっていくかを示させていただくということでございます。
01:49:23	はい。
01:49:24	④番、戸部通す説明書前回今後の進め方で表をつけさせていただきました途切れたご指摘も踏まえた再整理をした結果を、
01:49:36	来週の今後の進め方の中で説明をさせていただくということでございます。
01:49:43	はい。
01:49:44	あとは⑤番は明日、予定されてます影響通常のヒアリングの中で個別補足との関係については口頭でどういうふうに、どういう整理になっているかは説明をさせていただきます。また
01:49:59	他の説明もやっぱり飛ばすところまで今、整理、機会が提示できてませんのでそこも口頭でどういう直していくのかということもあわせて補足を説明させていただくということでございます。
01:50:11	(2)番、再処理の案件でございます。竜巻の設計方針に関しては、全体の設計方針として、これ前の課題認識というのを速やかにやるということが必要ではないかというやりとりでございました。
01:50:27	はい。これを、
01:50:31	7月7日に合わせてやるかそれより前なのかどういうふうにやっていくかというのを別途ご提示をさせていただきたいと思います。
01:50:40	はい。
01:50:42	あとは⑦番は、これはそっかフローに書いてある十時17の話が、スケジュールに書いてないという話これ全体整合とれてませんので、上の整理をさせていただきます。
01:50:58	はい。⑧番、これ今設計設備部ルートの設定というのとあとは個別のSA 竜巻溢水と書いてあるものを超え全くないわけじゃなくて、どうい

	う設計の説明をしなきゃいけないからこういう設計説明分類になるんだ ということの紐づけも関係しますので、
01:51:17	それぞれのリンクなり、進め方がわかるように再度整理をさせていただきます。
01:51:24	はい。⑨番は最初の設計説明分類を整理した後、MOX 廃棄物管理も併 せてどういうふうに進めていくかということ、認可のタイミングとい うのも踏まえて、
01:51:37	説明の進め方を再度計上させていただくというのをアップさせというこ とでございます。
01:51:47	102 番はお願いして、
01:51:52	6 番ですけど、
01:51:54	できる範囲でやっていただければと思いますが設計方針というところま でいえるのであれば行っていただいてということですが最低限、
01:52:05	課題認識。
01:52:07	現状っていうのがちゃんと伝わるようにということで整理をしていただ ければと思います。
01:52:15	はい。宮部決得ですおっしゃる通りまだ設置方針まで行かずにですね課 題認識の共通をちょっと灯りたいと思ってますのでちょっとヒアリン グ、面談でいいのか、タイミングいけるのかちょっと内部でもう一度議 論してご提案させていただきたいと思います。よろしくお願ひせ。
01:52:33	いたします。
01:52:44	補足です。どうぞ。
01:52:50	野本さんに、日本式
01:52:53	関西電力の方でございます。それでは、2 ポツの方の振り返りでござい ます。
01:53:01	今回ですね、本資料における設工認の習慣づけによる谷内炉安審次のデ ータにしていた
01:53:09	廣瀬さんとしてアンダーラインの引き方がちょっと失礼いたしました。 そういうところを改めるということでございます。
01:53:17	それから次のですね 11 番です。
01:53:20	11 番。
01:53:21	減衰定数に係る検討につきまして、こんな回答の
01:53:29	利用者も

01:53:30	一定量、これだけ何か言うことをこめていただけるといところを考慮していただき
01:53:37	以上でございます。
01:53:50	はい。作って、参考3の部分ですけども通じて許可整理資料をよく見て、その時能勢正義の仕方を踏まえた上で、どうグルーピングして、
01:54:03	累計できるのかということ整理をさせていただきます。
01:54:07	結果といえば考え方をちゃんと書いて、
01:54:12	お出しをしたいと思います。その時にはDDS合わせてセットで、この考え方を見てリティということの方針を、
01:54:21	次回の進め方のヒアリング時にご説明ができるようにさせていただきたいと思います。以上です。
01:54:31	はい規制庁補足です。
01:54:34	休憩時間を取らなかったもので、整理が出てないだけだと思うんですけど、14番のところは、許可値の整理はというか、
01:54:43	申請書での記載は細分化して書かれているけど、
01:54:47	内容の議論としては整理資料2、一連の関連性を整理をしますよと。
01:54:53	ということの状況認識をお伝えしたということなので、
01:55:00	何かこれだと見やっぱり常設可搬でみたいなふうに見えちゃうので、すごく誤解のないよう、
01:55:06	ということで、
01:55:11	はい。与儀1社でございます。はい、ありがとうございます。はい。
01:55:16	認識はしておりますので。はい。
01:55:19	誠意を進めたいと思います。
01:55:24	規制庁山口です。それではちょっと振り返り含めて全体として規制庁側から確認でございますでしょうか。
01:55:34	はい、そう。
01:55:35	縁側も特によろしいでしょうか。
01:55:41	はい。土産が特にございません。
01:55:44	それでこれで本日のヒアリングを終了したいと。
01:55:52	お聞きします。